

令和4年5月17日亀岡市教育委員会会議録

- 1 開会 午後2時05分
閉会 午後3時09分

2 出席委員

神 先 宏 彰	教育長
北 村 真 也	教育長職務代理者
末 永 礼 子	委 員
出 藏 裕 子	委 員
福 嶋 百合子	委 員
陀 安 一 郎	委 員
秋 山 伸 夫	委 員

3 欠席委員

なし

4 出席事務局職員

片 山 久仁彦	教育部長兼文化資料館長事務取扱
久 保 日出樹	次長兼総括指導主事
岡 田 康 宏	教育総務課長
内 藤 一 彦	学校教育課長
樋 口 竜 次	社会教育課長
山 崎 浩 久	社会教育課人権教育担当課長
岩 崎 盛 雄	歴史文化財課長
桂 和 裕	学校給食センター所長
谷 仁 志	図書館長
谷 口 正 二	みらい教育リサーチセンター所長
阿比留 綾	教育総務課副課長兼総務係長事務取扱

5 傍聴者

なし

6 議事の概要

(1) 開会

○教育長が開会を宣言。

(2) 前回会議録の承認

令和4年4月1日、4月4日に開催した臨時会の会議録を承認した。また、4月19日に開催した定例会の会議録を一部修正して承認した。

(3) 教育長からの報告

○教育長から以下の報告があった。

◎亀岡市関係

- ・学校規模適正化に係る育親中学校ブロック協議会において、同ブロックにおける義務教育学校の開校に向けて具体案を示し説明した。
- ・市立小・中・義務教育学校副校長及び教頭会議において、年度当初の指示を行うと共に、管理職の役割や責任について説明した。
- ・京都亀岡集団登校事故に係る十年忌法要に参列した。
- ・光秀まつり実行委員会に出席した。感染拡大防止対策を講じたうえで、武者行列を実施することが確認された。
- ・ブラジルで開催されるデフリンピック、女子棒高跳びに出場する末吉選手の市長面会に同席し激励を行った。後日、銅メダルを獲得されたとの報告を受けた。
- ・児童数増加に伴い新校舎建築を進めてきた千代川小学校の竣工記念授業参観に市長、議長等とともに出席した。
- ・令和3年10月から着任した外国語指導助手（ALT1名）が退任し、市長に退任あいさつした。
- ・第18回亀岡市ラグビー祭の開会式に出席し、その後に行われた試合を観戦した。
- ・令和4年度の人権教育啓発指導員に委嘱状を交付し、会長代理としてあいさつを行った。
- ・校園長会議において、今後実施される修学旅行や野外学習などの宿泊を伴う行事における感染防止対策、教職員の労務管理、また、児童生徒の指導上の問題事象増加に対する対応などを指示した。
- ・亀岡市青少年育成地域活動協議会委員総会に出席した。警察から小学生の非行が増加しているとの報告があった。

◎国・府等の関係

- ・令和4年度当初南丹局管内教育長会議に出席、管内2市1町の教育長に対し、南丹教育局から今年度の方針や新規事業について報告があった。
- ・新型コロナウイルスの影響もあり、久しぶりに対面で開催された令和4年度当初管内校園長会議に出席した。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2年間中止されていた近畿都市教育長協議会定期総会に会長として出席、日程短縮などの工夫により久しぶりに対面で開催した。
- ・令和2年度、3年度と開催が延期された全国都市教育長協議会定期総会が山口県で開催され副会長として出席した。

○教育長から報告後、福嶋委員から4月24日に開催された亀岡市都市緑花協会主催の「かめおか緑花フェア」の開会式に出席したとの報告があった。

(4) 報告事項

- ①千代川小学校新校舎の竣工について
- ②学校規模適正化について
- ③令和4年度亀岡市さわやか教室について
- ④令和4年度子育て・親育ち講座について
- ⑤令和4年度障がい者成人学級について
- ⑥令和4年度人型ロボット（pepper）活用事業の進捗状況について
- ⑦令和4年度5月教職員研修講座について

○各課長等からの報告を受けて、委員から次の質問・意見があった。

<令和4年度子育て・親育ち講座について>

出 蔵 委 員 コロナ禍において社会や個々が分断される状況にある中、子ども達の学びを止めないだけでなく、大人と大人同士や高齢者と高齢者など、今こそ繋がりを持たなければならないと感じており、先に報告があった「亀岡市さわやか教室」や「子育て・親育ち講座」などの学びの場は、たいへん貴重な機会となる。リモート形式であれば学びを止めずに開催することができるが、人と人の繋がりをもつためには対面形式での開催が望ましい。それらの講座の参加者が地元に戻って、その内容を話すなどして広めていきながら、一人でも多くの方が元気に、また、亀岡市全体が明るく元気になるような育ちの場になると期待している。

末 永 委 員 市立幼稚園の入園式に出席したが、外国籍の園児が入園し、他にも外国籍の園児がいるなど、亀岡市においても外国の方が増加している状況にある中、6月23日に市立幼稚園で開催する講座のテーマ「ふれあいは人を育てる～異文化コミュニケーションの重要性～」は、今後、相互に理解して共により良い地域社会を創る多文化共生のために、重要なテーマであり時宜を得た研修であると思う。

北村職務代理者 亀岡市家庭教育支援事業において報告があった講座以外に実施していることはあるのか。また、それぞれの講座にはどれくらいの参加実績があるのか。また、亀岡市PTAの中に家庭教育委員会という組織があるのか。

樋口社会教育課長 同事業では、今回報告の講座のみを実施している。各講座の昨年度の参加実績は、概ね各講座に10人から20人程

度、年間で160人程度の実績となっている。令和元年度の新型コロナウイルス感染症拡大前には年間828人の参加があることから、実績としては低調であるが、コロナ禍のため定員を制限していることが影響している。家庭教育委員会はPTAの中の組織であり、講座の内容等について相談し、連携して実施している。

北村職務代理者

社会教育と生涯学習の領域には重複している部分があるが、その役割のすみ分けはどうなっているのか。例えば先に説明があった子育て世代やシニア世代を対象とした事業はそれぞれで実施しているのか。全体として見えるものがあると理解しやすい。

樋口社会教育課長

実施事業の内容が似ていたり、対象者が重なっている部分もあるが、社会教育課の事業は学習ではなく教育という観点から、人材育成という視点を入れて事業を組み立てている。

片山教育部長

亀岡市の組織機構では、市長部局に生涯学習部がある。生涯学習部では、直接事業を実施するだけで、学習機会として市民大学や丹波学トークといった広く講演形式で行う大規模な講座を、生涯学習かめおか財団へ委託して実施している。それに対して教育委員会ではPTAや地域といった小規模な単位で講座を開設し、講師を招いて対面で事業実施している点が、その違いであると考えている。また、他の自治体では生涯学習を担当する部門と社会教育を担当する部門が一つとなり、教育委員会に生涯学習課という名称を残している所もあるが、文部科学省においても生涯学習局という組織は無くなり、現在ではあまり生涯学習ということは声高には言われなくなってきている。

福嶋委員

特別支援学級に在籍する子ども達が増加している中、そのような子ども達をもつ保護者を対象に交流機会の提供を含めた講座は開設しているのか。

保護者にはあまり情報がなく戸惑っておられるケースも多く見られるので、そのような方を対象とした講座も必要であると思う。

樋口社会教育課長

現在、それらの方々を対象とした事業はないが、今後検討はしたい。

<令和4年度障がい者成人学級について>

出蔵委員

それぞれの学級生に対して、年間を通して様々な事業を高い頻度で開催される計画であり、作品展の開催も企画しているとの報告であったが、参加者の年齢層はどれくらいの

方が多いのか。

樋口社会教育課長

ふれあい学級及びかめの会は高齢の方が多。学級生からも若い世代へも広げていこうという意見もあるので、そのためにはどうすれば良いのかを含め考えていきたい。また、かめのこ学級は作業所に通所する方も多く、比較的若年の方の参加が多い状況である。

<令和4年度人型ロボット（pepper）活用事業の進捗状況について>

陀安委員

人型ロボット（pepper）は、配置している学校の全ての学級での活用を想定しているのか。また、活用内容としては、主に環境や英語学習への活用を想定しているのか。

谷口みらい教育リサーチセンター所長

全小学校及び義務教育学校前期課程の全学年、全クラスでの活用を想定しており、活用内容としては環境学習や英語学習の他にも、様々なソフトが用意されており、英語での絵本の読み聞かせや各学年の復習用のドリルなども組み込まれている。

陀安委員

個別対応も出来るといったメリットも生かして、コミュニケーションがとりにくい子ども達への支援にも活用いただきたい。

(5) その他

○令和4年度「かめおかっ子 夢・未来 読書プラン」推進会議の委員選出について

⇒陀安委員を令和4年度「かめおかっ子 夢・未来 読書プラン」推進会議の委員として選出することで全員が承認した。

○オンラインで参加した末永礼子委員については、亀岡市教育委員会会議規則に基づき出席したものとみなす。

(6) 閉会

○教育長が閉会を宣言

以 上